

IEC/IEEE 82079-1 の概要

IEC/IEEE 82079-1 は、取扱説明書（ユーザーインフォメーション）の作成に関する国際規格であり、製品のライフサイクル全体を通じた情報提供の最適化を目的としています。正式名称は以下のとおりです。

IEC/IEEE 82079-1:2019

“Preparation of information for use (instructions for use) of products – Part 1: Principles and general requirements”

（製品の使用のための情報（取扱説明書）の作成 – 第1部：原則および一般要求事項）

この規格は、電気・電子機器に限らず、すべての製品、システム、サービスに適用可能であり、特に 製造業やソフトウェア業界における取扱説明書の品質向上 に重要な指針を提供します。

主な内容

IEC/IEEE 82079-1 は、以下の観点から取扱説明書の作成に必要な要件を規定しています。

1. 情報提供の基本原則

- ユーザーのニーズに基づいた情報設計
- 情報の明確性、正確性、完全性
- 使用環境に適した情報提供（紙・電子・音声・動画など）
- 視覚的表現（レイアウト、図表、アイコンの活用）

2. 取扱説明書の構成

- タイトルページ・概要（製品の基本情報）
- 安全に関する情報（警告、注意事項）
- 使用方法（セットアップ、操作手順、トラブルシューティング）
- 保守・メンテナンス情報（交換部品、定期点検）
- 廃棄・リサイクル情報（環境対応）

3. ユーザー中心設計（UCD: User-Centered Design）

- ターゲットユーザー（一般消費者、技術者、管理者など）ごとの情報提供
- ユーザーのリテラシーを考慮した言語・表現の選択
- マルチモーダル情報（テキスト＋図、動画、音声）を適用可能

4. 言語と翻訳の要件

- 言語の明確化と簡潔な表現
- 用語の統一と標準化
- 機械翻訳や自動翻訳を活用する場合の要件

5. 情報の管理と保守

- 情報の更新・バージョン管理
 - 電子的な提供(ウェブ、アプリ、QRコードなど)
 - 取扱説明書のライフサイクル管理(製品変更時の対応)
-

適用分野

この規格は、以下のような幅広い分野で活用されます。

- 製造業(家電、機械、医療機器、自動車など)
 - IT・ソフトウェア業界(UI/UX設計、ヘルプドキュメント)
 - 建築・インフラ(設備マニュアル、施工指示書)
 - 軍事・航空宇宙(安全・操作マニュアル)
-

JIS規格との関係

- IEC/IEEE 82079-1 は JIS Z 82079-1 として2025年4月30日よりJIS化の委員会が開始され、当方からはPL法の専門家として渡辺吉明、また製品安全に専門家としてAPL事務局長菅野が中立的委員として参加しています。
- 現在、デジタルマニュアル や IoT対応のインタラクティブな取扱説明書 への対応が求められており、SCODT のようなトレーサビリティ機能を持つデジタル取説 も今後の発展に関与していく可能性があります。

取扱説明書ガイドラインはこの規格の原則を考慮して設計、電子化したデータの対応として安全点検アプリは安全点検通知機能の標準化 という点で重要な役割を果たすと委員会事務局の意見をいただいております。